

2019年強化指定選手および国際大会派遣選手選考基準について

(2018年8月1日)

種別	選考条件
強化指定選手	<p>Sランク (パラリンピック種目のみ)</p> <p>(1) 当該前年の日本ID陸上競技選手権(以下日本ID選手権)にエントリーしていること。 ※日本ID陸上競技選手権大会期間中に国際大会が行われ、本連盟が派遣した選手については考慮する。</p> <p>(2) 当該前年の12月31日まで(2018年12月31日まで)にINAS登録が完了、またはINAS登録の申請が出されている者。 未申請の選手についてはINASの登録申請をした段階で強化指定選手とする。</p> <p>(3) 当連盟の定めるSランク強化指定標準記録を突破している者。</p> <p>(4) 突破記録は、その当該前年(2018年1月1日から2018年12月31日)の日本ID選手権、ジャパンパラ陸上競技大会(以下ジャパンパラ)、関東パラ陸上競技選手権大会(以下、関東選手権)等の連盟の主催・共催大会及び国際大会の記録も選考の対象とする。また2019年の大会で突破した者は追加で強化指定選手に指定する。</p> <p>(5) (4)に示す大会以外にも都道府県陸協主管の大会、記録会等(公財)日本陸上競技連盟(以下「日本陸連」)主催の大会での記録も認める。対象大会は日本陸連ホームページ・大会情報・地域別大会情報2018年度に公表されている大会とする。また2019年度についても上記と同条件の大会で記録を突破した者は追加で強化指定選手に指定する。</p> <p>(6) 連盟コーチの指導・采配に従える者および他害行為など他人に迷惑をかけない者。連盟の強化合宿に参加できる者。行動規範を遵守できる者。</p> <p>(7) 原則、パラリンピックの種目のみとする。東京パラリンピックの参加標準記録が設定され次第、再設定する場合がある。</p> <p>(8) 上記の条件をクリアし、強化指定選手を希望する者は「強化指定選手申請書」を提出すること。</p>
Aランク	<p>Sランクの選考条件(1)、(2)、(4)、(5)、(6)、(8)が適応される。</p> <p>(1) 当連盟の定めるAランク強化指定標準記録を突破している者。</p> <p>(2) 対象とする種目は100m、200m、400m、800m、1500m、女子3000m、5000m、男子10000m、100mH、110mH、男子400mH、男子3000mSC、走幅跳、三段跳、走高跳、砲丸投、やり投げ、円盤投とする。</p>
Bランク (パラリンピック種目のみ)	<p>Sランクの選考条件(1)、(2)、(4)、(5)、(6)、(7)、(8)が適応される。</p> <p>(1) 当連盟の定めるBランク強化指定標準記録を突破している者。</p>

国際大会派遣選手	グローバル大会および世界選手権大会派遣	<p>(1) 当連盟の定める日時までに INAS 登録が完了している者に限る。</p> <p>(2) 当連盟が設定した派遣記録を突破している選手から選考する。</p> <p>(3) 選考大会は、原則日本 I D選手権とする。</p> <p>日本 I D選手権での選考が困難な場合は、別途選考会を実施し決定する。選考大会が実施できない場合は、告知後ファーストエントリー直近の当連盟主催・共催の日本 I D選手権、日本パラ、ジャapanパラ、関東選手権、大分パラなどの WPA 公認大会及びエントリー前年度の国際大会において、INAS 登録が完了している選手の中から、各種目の記録上位 3 名の選手から選考する。</p> <p>(4) 選考は過去の INAS の国際大会の 3 位を基にした 3 位突破率の高い者を優先する。</p> <p>(5) 選手管理上、適正な人数とする。したがって、派遣記録を突破した選手が必ず選考されるとは限らない。</p> <p>(6) パラリンピック種目については J P C 重点強化種目として参加を優先する。</p> <p>(7) リレーについては当連盟重点種目としてリレーメンバーを優先して選考する。</p> <p>(8) 国際大会選考についての詳細は、上記を基本とするが、選考の具体的方針についてはその都度発表し、その発表を優先する。</p> <p>(9) 連盟コーチの指導・采配に従えるものおよび他害行為など他人に迷惑をかけない者。日本代表選手として、競技に対する自助努力と情熱と品位を兼ね備え、日本選手団の一員として自覚を持ち、互いに協力し大会に臨める者。連盟の強化合宿に参加すること。行動規範を遵守できる者。</p>
アジアパラゲームズ		<p>(1) 当連盟の定める日時までに INAS 登録及び WPA 登録が完了している者に限る。</p>
アジアユースパラゲームズ		<p>(2) WPA 公認大会に出場しており、記録が公認されていること。</p>
WPA ジュニアユース		<p>(3) JPC の提示する選考基準を満たしている者。</p>
※推薦		<p>(4) 原則、WPA の定める記録突破期間内における、WPA ランキングの上位者から優先順位を決定する。</p>
WPA ランキングでの選考が難しい場合、日本 I D選手権での各種目の強化指定選手及びユース強化指定選手上位選手から選考する。 ただし、日本 I D選手権での選考が間に合わない場合は、別途選考会を実施し、決定する。選考大会が実施できない場合は、告知後ファーストエントリー直近の日本 I D選手権、日本パラ、ジャパンパラ、関東選手権、大分パラ、当連盟の主催・共催大会及びエントリー前年度の WPA 国際大会においてユース強化指定選手及び強化指定選手の中から INAS 登録及び WPA 登録が完了している選手の記録を各種目の上位 3 名の選手から選考する。		<p>また、ユースについてはユースの上位 3 名から選考し、選手管理上、適正な人数とする。</p>
パラリンピック ※推薦		<p>(1) WPA の定める日時までに、WPA ステータスが「R (レビュー)」または「C (コンファーム)」を獲得している者。</p> <p>(2) JPC の提示する選考基準を満たしている者。</p> <p>(3) WPA の定める記録突破期間内で、参加標準記録を突破した選手の中から、</p>

		<p>参加可能な最終の選考会の期日を基に、WPA ランキングの上位者から優先順位を決定する。</p> <p>(4) 割り当てられたスロットに従って、優先順位を基に選考する。</p> <p>(5) 連盟コーチの指導・采配に従えるものおよび他害行為など他人に迷惑をかけない者。日本代表選手として、競技に対する自助努力と情熱と品位を兼ね備え、日本選手団の一員として自覚を持ち、互いに協力し大会に臨める者。連盟の強化合宿に参加すること。行動規範を遵守できる者。</p>
その他 の国際 大会派 遣選手	INAS 世界ハーフマラソン選手権、ヨーロッパオープン、世界室内選手権などの派遣	<p>(1) 強化指定選手の中から、参加希望があり、強化委員長が推薦し、常任理事会で承認した者。</p> <p>(2) 国際大会選考についての詳細は、上記を基本とするが、選考の具体的方針についてはその都度発表し、この発表を優先する。</p> <p>(3) 連盟コーチの指導・采配に従えるものおよび他害行為など他人に迷惑をかけない者。日本代表選手として、競技に対する自助努力と情熱と品位を兼ね備え、日本選手団の一員として自覚を持ち、互いに協力し大会に臨める者。連盟の強化合宿に参加すること。行動規範を遵守できる者。</p>

<語句説明> **I N A S** : 国際知的障害者スポーツ連盟（事務局イギリス）

I P C : 国際パラリンピック委員会（事務局ドイツ）

W P A : World Para Athletics の略 2016 に IPC 陸上競技からこの名称に変更した。

国際競技クラスステータス : 国際クラス分け後の認定ランク

New (N) : IPC 登録したが、まだ国際クラス分けを受けていない選手

Review (R) : 国際大会ごとにクラス分けを行い、認定ランクの確認が必要

Confirmed (C) : 原則、クラス分けをしなくても一生涯認定ランクは変わらないが、テスト内容の変更等の理由により、Review (R) に戻されることがある。

J P C : 日本パラリンピック委員会

INAS 登録 : INAS が定める検査、診断による書類を INAS へ申請し、登録を行う

【強化方針】

当連盟はパラリンピックでのメダル獲得を含めた上位入賞を目指すことを最重要目標とし、パラリンピック種目を重点的に強化支援する。また INAS の大会についてメダル獲得有力種目も重点種目として強化していく。

【強化指定選手指定期間】

2019 年 1 月 1 日～12 月 31 日とし、選考基準の記録の突破期間を 2018 年 1 月 1 日～12 月 31 日とする。

【各ランク特権】

S ランク : ①優先して JPC 医科学サポートへの申請を行う。

※JPC 医科学サポートとは、フィジカルチェックテスト、映像サポート、バイオメカニクスサポート、栄養サポート、心理サポートなどのことをいう。

②合宿の参加費は本連盟が負担する。

③国際大会についても参加費の負担額を考慮する。

A、B ランク : 合宿の費用の一部を本連盟が負担する。